＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	空気のおいしい健康な家
グループの名称	北九州グリーン住宅研究会
直近採択グループ番号	06-0789-0730

（グループ代表者）

代表者名	安枝　博信　代表者印
代表者所属先	イーホーム株式会社
代表者所在地	福岡県北九州市小倉北区足原2丁目10番16号
代表者電話番号	093-952-1060

（グループ事務局）

事務局事業者名	カネシン産業
事務局担当者名	藤高　健　印
事務局郵便番号	807-1151
事務局所在地	福岡県北九州市八幡西区大字楠橋4891番地3
事務局電話番号	093-647-1712
事務局FAX	093-647-1713
事務局担当者E-mail	kitakyushu_green@yahoo.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	空気のおいしい健康な家
２．グループの名称(必須)	北九州グリーン住宅研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0789-0730
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	福岡県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	安枝　博信
７．グループ代表者の所属先(必須)	イーホーム株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	福岡県北九州市小倉北区足原2丁目10番16号
９．グループ代表者電話番号(必須)	093-952-1060
１０．グループ事務局事業者名(必須)	カネシン産業
１１．グループ事務局担当者名(必須)	藤高　健
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	807-1151
１３．グループ事務局所在地(必須)	福岡県北九州市八幡西区大字楠橋4891番地3
１４．グループ事務局電話番号(必須)	093-647-1712
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	093-647-1713
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kitakyushu_green@yahoo.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	8	原木供給業者が海外の場合、構成員に含めない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	製材事業者が海外の場合、構成員に含めない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	6	ルートによっては建材流通を含まない場合がある。
Ⅳ．プレカット	7	構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。
Ⅴ．設計	4	同名の施工事業者が設計を行う場合は、構成員には登録しない。
Ⅵ．施工	9	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び床面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	"グリーン化事業申請にあたって、各施工店が希望した戸数を元に配分していく。 希望戸数に満たない場合は1社1戸を前提とした上で、希望戸数、実際の受注状況を考慮して配分する

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	6	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給業者が海外の場合、構成員に含めない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
41	Ⅰ － 15	株式会社 伊万里木材市場		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145番地30口	0955-20-2183
45	Ⅰ － 16	都城森林組合		885-0055	宮崎県都城市早鈴町5085番地口	0986-23-8787
40	Ⅰ － 17	豊築森林組合		828-0052	福岡県豊前市大字塔田51口	0979-82-7529
40	Ⅰ － 19	浮羽森林組合		839-1401	福岡県うきは市浮羽町朝田381番地5口	0943-77-2158
45	Ⅰ － 50	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
43	Ⅰ － 52	肥後木材株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2986-11	096-389-0022
44	Ⅰ － 54	株式会社九州木材市場		877-0000	大分県日田市三和2726-10	0973-24-3625
44	Ⅰ － 55	日田木材協同組合		877-1371	大分県日田市大字東有田字新山2776-6	0973-24-2167
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材事業者が海外の場合、構成員に含めない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
41	Ⅱ － 21	西九州木材事業 協同組合		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145番地36□	0955-20-2010
34	Ⅱ － 22	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号□	0823-71-7141
35	Ⅱ － 25	株式会社 マルホ		740-0003	山口県岩国市飯田町1-3-37□	0827-71-8191
45	Ⅱ － 26	株式会社 高嶺木材		887-0111	宮崎県日南市大字伊比井173-1□	0987-29-1234
45	Ⅱ － 50	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
44	Ⅱ － 53	株式会社 佐藤製材所		877-1244	大分県日田市大字小野26-1	0973-26-5850
44	Ⅱ － 55	日田木材協同組合		877-1371	大分県日田市大字東有田字新山2776-6	0973-24-2167
44	Ⅱ － 56	株式会社深津製材所		877-0068	大分県日田市内河野大字内87-1	0973-22-5267
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
ルートによっては建材流通を含まない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
34	Ⅲ － 22	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号口	0823-71-7141
40	Ⅲ － 29	株式会社 山陽		800-0241	福岡県北九州市小倉南区長野本町2-1-1口	093-471-1167
42	Ⅲ － 31	株式会社 富建		856-0806	長崎県大村市富の原一丁目1545-1口	0957-53-2145
40	Ⅲ － 32	株式会社 キューハウ		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目3-5	092-631-3781
43	Ⅲ － 33	原田木材 株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2985-1口	096-380-7531
27	Ⅲ － 36	株式会社 コシイプレザービング		559-0026	大阪府大阪市住之江区平林北2-9-145	06-6685-1911
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
42	Ⅳ － 31	株式会社 富建		856-0806	長崎県大村市富の原一丁目1545-1□	0957-53-2145
40	Ⅳ － 32	株式会社 キューハウ		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目3-5	092-631-3781
41	Ⅳ － 37	中国木材 株式会社 伊万里事業所		849-4251	佐賀県伊万里市山代町楠久字鳴石搦三929-93□	0955-20-2235
40	Ⅳ － 38	株式会社 市岡		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-3-8□	092-641-9035
40	Ⅳ － 39	原田木材 株式会社 福岡事業部		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目3-2□	092-631-5621
41	Ⅳ － 40	ポラテック西日本株式会社 佐賀工場		847-0115	佐賀県唐津市佐志浜町4525番地4□	0955-79-5713
25	Ⅳ － 41	ポラテック西日本株式会社		520-3405	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17□	0748-88-6551
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
同名の施工事業者が設計を行う場合は、構成員には登録しない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
40	Ｖ － 10	マホロバ設計一級建築士事務所		807-0841	福岡県北九州市八幡西区的場町3番23号口	093-613-6552	○	
40	Ｖ － 11	野田一級建築士事務所		800-0223	福岡県北九州市小倉南区上曽根5-1-45	093-471-0312	○	
40	Ｖ － 12	アーキライン一級建築士事務所		811-4307	福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川3-3-18口	093-982-0097	○	
40	Ｖ － 59	吉村一級建築士事務所		800-0033	福岡県北九州市門司区大里桃山1-40	093--391-1272		○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							9	○	○
40	Ⅵ - 1	79987	有限会社 有吉工房		800-0344	福岡県京都郡苅田町大字新津631－174	0930-24-1188	○	
40	Ⅵ - 2	79597	カネシン産業		807-1151	福岡県北九州市八幡西区楠橋4891－3	093-618-0095	○	
40	Ⅵ - 3	79648	株式会社 スリーピースホーム		823-0003	福岡県宮若市本城544-2 サンコーポ6-103	0949-32-8584	○	
40	Ⅵ - 4	79684	株式会社 倉谷工務店		803-0279	福岡県北九州市小倉南区徳吉南2－5－33	093-451-4068	○	
40	Ⅵ - 6	79612	ハヤマ住建 株式会社		802-0837	福岡県北九州市小倉南区葉山町3－1－58	093-963-4152	○	
40	Ⅵ - 8	79591	イーホーム株式会社		802-0043	福岡県北九州市小倉北区足原2丁目10番16号	093-952-1060	○	
40	Ⅵ - 9	79971	有限会社 魁翔		803-0825	福岡県北九州市小倉北区白萩町5番18号 白萩光和ビル103	093-562-3711	○	
40	Ⅵ - 58		株式会社 ROWEN HOUSE		802-0971	福岡県北九州市小倉南区守恒本町2丁目6-6-105	093-967-1388	○	
40	Ⅵ - 60		岩本工務店		800-0243	福岡県北九州市小倉南区西貫1-8-26	093-475-1165		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
40	Ⅵ－ 1	79987	有限会社 有吉工房	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
40	Ⅵ－ 2	79597	カネシン産業	6 戸	6 戸	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下		○	○
40	Ⅵ－ 3	79648	株式会社 スリーピースホーム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 4	79684	株式会社 倉谷工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 6	79612	ハヤマ住建 株式会社	3 戸	2 戸	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 8	79591	イーホーム株式会社	17 戸	40 戸	4 戸	4 戸	1 戸	1 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
40	Ⅵ－ 9	79971	有限会社 魁翔	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
40	Ⅵ－ 58		株式会社 ROWEN HOUSE	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 60		岩本工務店	2 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下		○	○
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
40	Ⅶ － 43	アクティートーヨー住器 株式会社		802-0821	福岡県北九州市小倉南区横代北町3-11-2口	093-963-8934
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 47	株式会社 フォーラム・ジェイ		175-0082	東京都板橋区高島平9-8-2	03-5920-7050
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）空気のおいしい健康な家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）北九州グリーン住宅研究会	（結成年）2015 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0789-0730	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	□夏でも快適な断熱性・遮熱性 → 断熱等性能等級4の確保・外壁や屋根の下地に遮熱性能の高いシートを使用 □大気汚染に負けない“クリーンな”住宅 → ホルムアルデヒド対策等級3の基準をクリア（シックハウス対策） → JISが定める気密性能等級4をクリアしたサッシを使用する（気密による黄砂・PM2.5対策） → PM2.5に対応した換気フィルター等の導入（PM2.5対策）	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	□白蟻被害を始めとした、構造体の劣化対策を講じる。 → ベタ基礎を標準とする（地盤劣化対策／白蟻対策） → 基礎高400mmを標準とする（基礎劣化対策） → JIS 規格A4416の基準を満たした浴室ユニットを標準使用する（浴室の劣化対策）	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	□建築主にとって、求めやすい住宅の提供の為にも、デザインに係るルールは設定しない。	◎
④ ①～③の背景	原則的には昨年同様、下記の背景によって①～③に限らず全体的な共通ルールを設定している。 福岡県の夏は日差しが強く、フェーン現象の影響もあり梅雨明けから猛暑日となる日もある。熱帯夜となる日も多く、ヒートアイランドの影響も大きい。湿度も高く、ヤマトシロアリやイエシロアリの他、北九州エリアではカンモンシロアリも生息している等、白蟻の害も多い。 また当グループの中心的活動エリアとなる北九州市は、位置的な関係でPM2.5や黄砂に悩まされる事が多く、実際にそれを気にされる建築主も多い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	□環境に配慮した“グリーンな”住宅 → 節水型トイレの標準使用（環境対策） アジア初のグリーン成長都市（OECD）に指定された、北九州市に本拠地を置くグループとして、グループメンバー自身が環境への意識を高めていくと共に、環境を配慮した取り組みを実施していく。 また、新規の構成員を迎えた事もあり、構成員同士の結束感や協力体制を深める為の取組も継続して行っていく。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	□ホルムアルデヒド対策等級3の基準をクリアする建材の使用。 □JISが定める気密性能等級4をクリアしたサッシの使用。 □JIS 規格A4416の基準を満たした浴室ユニットの標準使用。 □節水型トイレの標準使用。 ◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	□項目ア①～⑤、イa①-2に定めている共通ルール等で標準仕様を設定している。 （性能値の設定、使用建材の統一等） ◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	□一部の住設についてグループで共同購入を行っている。 ◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	□上記取組によって、調達事務の合理化が果たされている。 ◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	□2ヵ月に1度程度の定例会において、グループの活動方針や取組について検討をしている。その中で、生産の合理化等に資する取組についても検討を行っている。 ◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：	□定例会の開催において、構成員間のスケジュール調整や連絡業務等を行っている。 ◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：	□項目ア①～⑤、イa①-2に定めている共通ルール等で施工基準を設定している。 ◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：	□グループ共通のチェックシートの作成 グループにおいて、共通のチェックシートを作成。提供する地域型住宅に対して、同一ルールに基づいたチェックを実施する。住宅完成後は、同チェックシートを住宅履歴情報に登録し、建築主と共有する。 ◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：	□イa②-1の取組にて共同購入した住設において、地域型住宅特別価格として、共通の見積書を作成し建築主へ提示する。 ◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない	□ ある →	内容：	
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：	□実現状況は事業者によってまちまちなのが現状。グループとして週休2日の実現にどういった支援が出来るのかを相談する場を設け、今後の取組方針の決定を目指す。 ○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：	□グループとして現時点で具体的な取組は行っていないが、今後の課題として定例会等で相談の機会を設ける。 ○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：	□構成員及び関連事業者（請負技能者等）の加入状況の把握に努め、今後の取組方針を模索していく。 ○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	□グループとしての「労働安全衛生」支援の方法を相談する場を設ける。 ○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）空気のおいしい健康な家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）北九州グリーン住宅研究会	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0789-0730	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：□住宅履歴情報サービス機関で24時間閲覧可能なデータセンターを用いた情報保管と蓄積を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：□グループ構成員になっている情報サービス機関「フォーラム・ジェイ」のサービスを利用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：□情報サービス機関が発行する住宅履歴情報証明書による。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：□グループ共通の点検時期・点検項目を設定する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：□グループ共通の点検時期・点検項目を設定する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：□点検結果、補修結果を保管している住宅履歴情報に蓄積する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：□住まいの管理に係る管理シート等を作成し、お引渡し時に建築主にお渡しする。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：□現在はグループ構成員が個別に完成見学会や各種のイベントを行っている。ゆくゆくはグループ共同での開催を目指す。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：□現在はグループ構成員が個別に完成見学会や各種のイベントを行っている。ゆくゆくはグループ共同での開催を目指す。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：□2ヵ月に1度程度の定例会において、グループの活動方針や取組について検討をしている。その中で、維持管理の手法についても検討を行っている。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：□グループにおける長期の維持管理計画（住宅タイプに関わらず）の共通化を目指す。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：□グループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。構成員の廃業時は、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテンナンス等のサポートを実施する。その際には保管・管理している住宅履歴情報も活用しスムーズな実施を心がける。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：□定例会時等に、グループ構成員同士による瑕疵の過去事例や震災被害に関する情報交換を行っている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

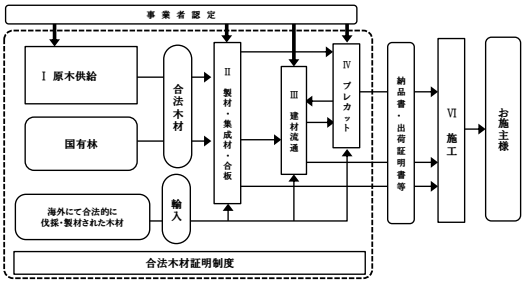
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：□地域型住宅の提供にあたっては、各制度の実施経験のある会社や補助金活用実績のある会社によるアドバイスを始めとしたサポート体制の構築を目指している。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：□項目ア①～⑤、イa①-2に定めている共通ルール等で品質管理を行っている。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：□イa②定めている検査ルール。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：□今年度においても、前年のグループの受注数を元に活動計画を立てる。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：□全施工構成員が、地域型住宅の提供実績を持てるように活動していく。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：□地域型住宅の提供にあたっては、各制度の実施経験のある会社や補助金活用実績のある会社によるアドバイスを始めとしたサポート体制の構築を目指している。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　10		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：□開催される住宅省エネルギー技術講習会の日程等の情報を、事務局を中心に共有・周知する事で参加を促進する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：□流通店や資材メーカーの協力を仰ぎ、定例会において最新設備等における情報収集の場を設けている。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：□流通店や資材メーカーの協力を仰ぎ、定例会において最新設備等における情報収集の場を設ける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）空気のおいしい健康な家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）北九州グリーン住宅研究会	（結成年）2015 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0789-0730		

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	□申請事務の合理化の観点から割合による共通ルールは設けず、主要構造材の合計において4㎥を地域材の必達目標値とする。（下記②の割合及び③の使用箇所は参考とする）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材 土台：□ 使用していない ■ 使用している 柱：□ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：□ 使用していない ■ 使用している 板材 壁板、床板等：□ 使用していない ■ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：地域材情報を含めた、補助事業に関しての相談窓口を設置している。不透明な部分を無くすことで、地域型住宅のスムーズな提供を目指す。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：地域材情報を含めた、補助事業に関しての相談窓口を設置している。不透明な部分を無くすことで、地域型住宅のスムーズな提供を目指す。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：共通ルールに定めた4㎥1戸あたりの使用量として想定している。供給予定戸数と乗算した数値をグループ全体の予測値とする。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□グループの取組として和の仕様の積極的提案を行っており、実際に活用している住宅もあるが、建築主の好みに係る内容である為、具体的数量等は設定しない。	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□グループの取組として和の仕様の積極的提案を行っており、実際に活用している住宅もあるが、建築主の好みに係る内容である為、具体的数量等は設定しない。	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□グループの取組として和の仕様の積極的提案を行っており、実際に活用している住宅もあるが、建築主の好みに係る内容である為、具体的数量等は設定しない。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□グループの取組として和の仕様の積極的提案を行っており、実際に活用している住宅もあるが、建築主の好みに係る内容である為、具体的数量等は設定しない。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□昨年同様、和の住宅を積極的に提案していく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□昨年同様、和の住宅を積極的に提案していく。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：□建築主にとって、求めやすい住宅の提供の為にも、デザインに係るルールは設定しない。	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□昨年度においては、環境に配慮した"グリーンな"住宅の提供を目指すグループとして、新築時に植樹用としてイチイガシの苗木を建築主に贈呈していたが、建築主によっては必要としていないケースもあった。従って、本年度においては希望する建築主には贈呈するという取組に改める。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：上記取組を通じ、街並みの緑化へ貢献するとともに、施工エリアの景観づくり方針等を自主勉強した上で、地域型住宅を提供する。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：□昨年同様、和の住宅を積極的に提案していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		当グループの活動エリアにおいても、2017年7月の大雨によって被害を受けた地域が有る。 良質で安全な住宅の提供が、被害を受けた方や今回の災害で不安を覚えた方の安心へと繋がると考える。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）空気のおいしい健康な家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）北九州グリーン住宅研究会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0789-0730	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。